

葛野だより

特別号

京都市立葛野小学校

令和7年3月19日

校長 笹岡 法道

〒615-0882
京都市右京区西京極葛野町2
TEL:075-311-3510
FAX:075-311-3557



学校HPへは
こちらから

令和6年度後期学校評価の結果を分析・検討し、「今後の展望」としてまとめさせていただきました。アンケートへのご協力ありがとうございました。また、ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。

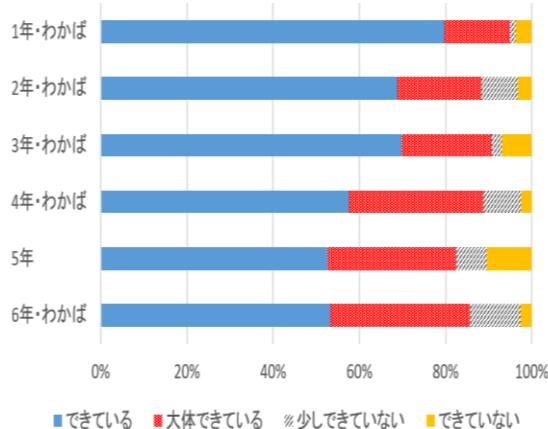
今後も、「子どもが明日の登校を待ち望む学校」となるようさらに取り組んでいきたいと思います。

『子どもたちが明日の登校を楽しみにする学校』にむけて

【児童アンケート結果】

■よくあてはまる ■ややあてはまる
△あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない

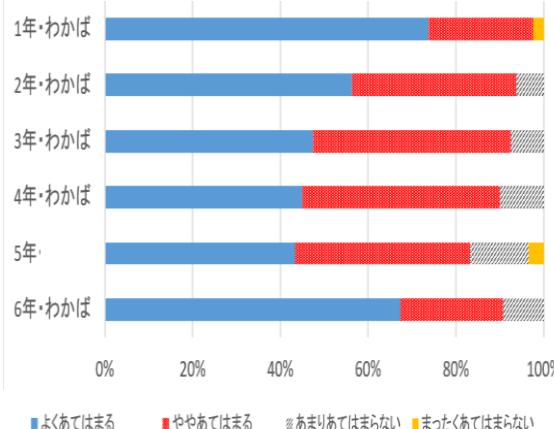
○毎日、楽しく学校に通っている。



【保護者アンケート結果】

■できている ■大体できている
△少しできていない ■できていない

○楽しく学校に通っている。



アンケートの結果をもとに、学習指導や生活指導に生かしていきたいと考えております。紙面の都合上、アンケートの集計結果をすべて掲載することができません。葛野小学校のホームページでは、全ての項目を掲載しておりますのでご覧ください。

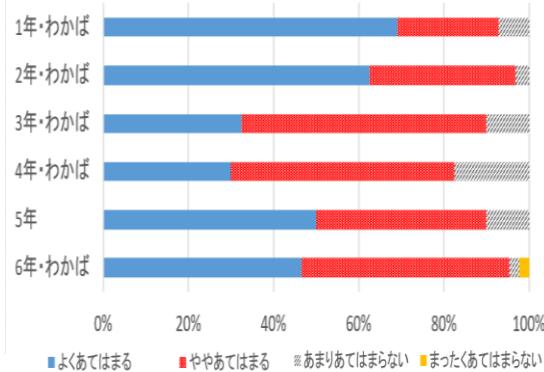
前期と変わらず、児童・保護者共に「毎日、楽しく学校に通っている」という回答が80%から90%以上を占める割合となっていました。

各学級・学年での学習活動、たてわり活動などの異学年交流、休み時間も運動場で鬼ごっこやドッジボール、教室で一緒に絵かきなど楽しそうに過ごしている姿が見られます。

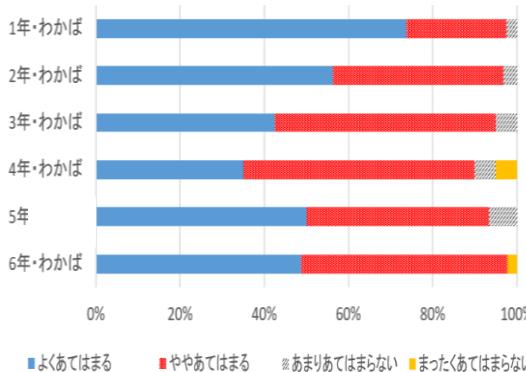
反面、「少しできていない」「できていない」の回答も前期に続き、一定数ある現状に対して、どのような教育活動を実施できるのか、さらに考えていく必要があると考えています。

『授業』『子ども理解』【保護者】『学習に向かう力』【児童】

○先生は子どもをよく理解し、真剣に対応している。

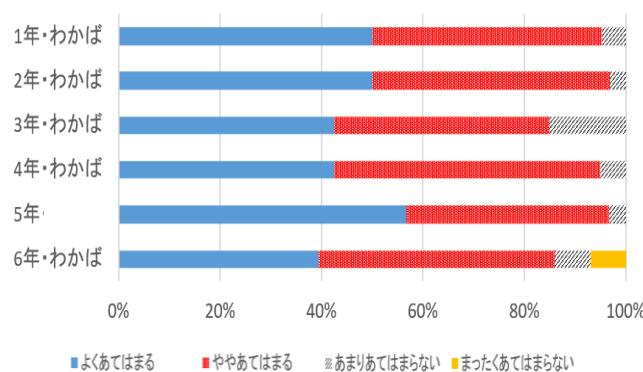


○先生はわかりやすい授業を工夫している。



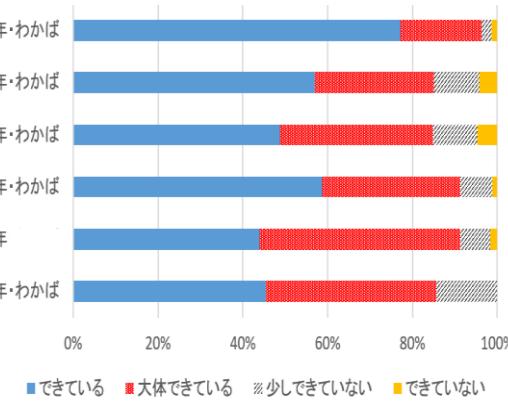
保護者・地域との連携について

○学校のようすを、学校だよりや学年だよりよく知らせている。



- ◆「子どもを理解し、真剣に対応している」についてどの学年も「ややあてはまる」からは80%以上の結果となりました。今後も児童の声に真摯に耳を傾けていきたいと思います。
- ◆「わかりやすい授業を工夫している」について、どの学年でも90%前後で「よくあてはまる」「ややあてはまる」となっています。専科教員の配置や学年内での交換授業など指導体制の改善の効果がでていると考えています。
- ◆「授業中は自分の力をだしている」という項目では「大体できている」で80%以上となりました。児童が主体的に取り組める授業づくりを目指しています。一方でさらに力をだしきれるような授業を引き続き構築できるよう教員の授業力向上を目指していきます。

○授業中は自分の力をだしている



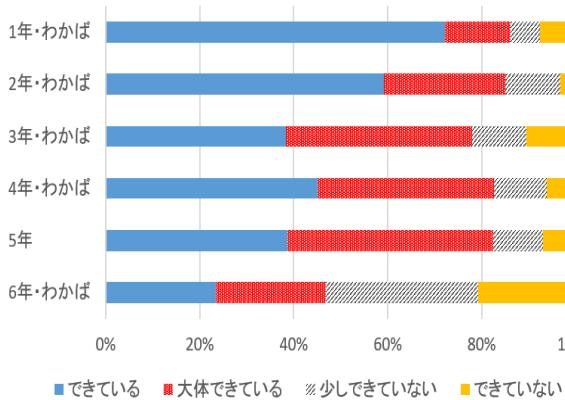
「学校だよりや学年だよりで知らせている」については、前期より「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が増えました。引き続き、ホームページで学年の様子を随時アップし、児童の様子や学年の取組を保護者の方をはじめ地域の皆様など多くの方に知っていただけるように努めていきたいと思います。

「すぐーる」で配信させていただいております「学年・学級だより」等のお便りもご覧ください。

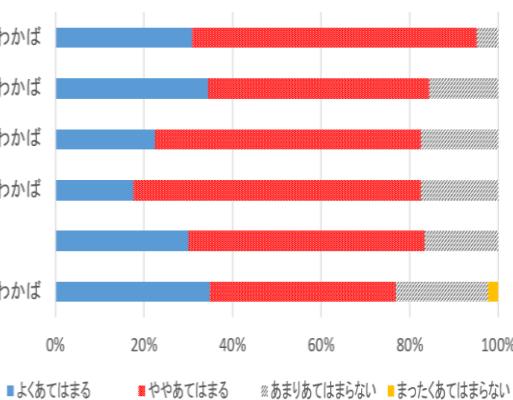


家庭教育の習慣化について（左：児童 右：保護者）

○家での勉強は、学年×15分できている。



○家庭教育の習慣が身についた。

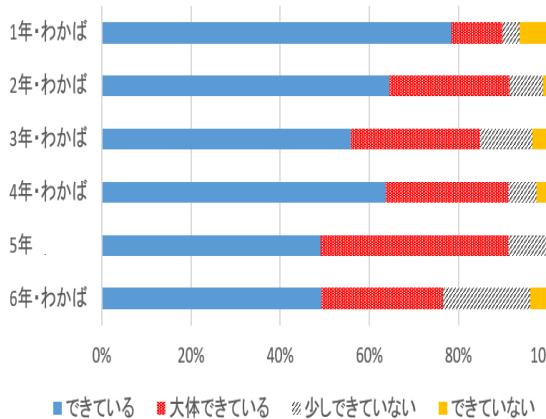


家庭教育については、学年×15分を目安としています。学年が上がるにつれて時間も長くなります。その分、目安時間の達成もむずかしくなってきます。もちろん、時間を達成することが一番のめあてではありません。大切なことは、家庭教育を通して「自分に必要なことを自ら学ぶ力」をつけることだと考えています。日々の基礎基本の定着につながる宿題とともに、自主学習を通して、自分で考え方をつけてほしいと思っています。持ち帰りをしているGIGA端末も『デジタルドリル』だけでなく、日々の疑問を解決するツールとしても活用できますのでお知りおきください。

生活習慣について

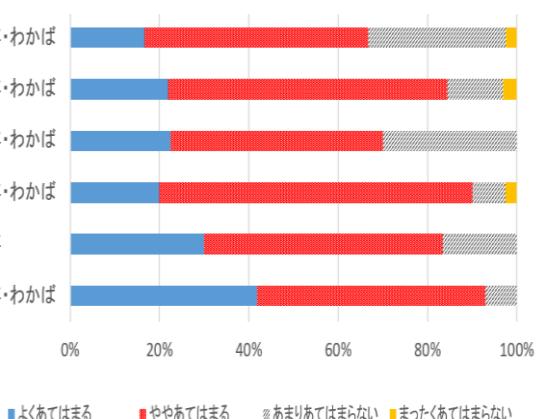
【児童アンケート結果】

○すすんであいさつしている。

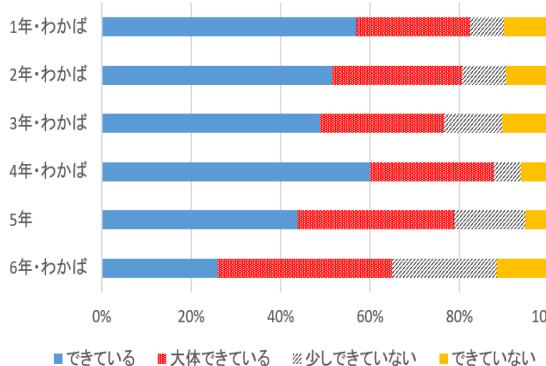


【保護者アンケート結果】

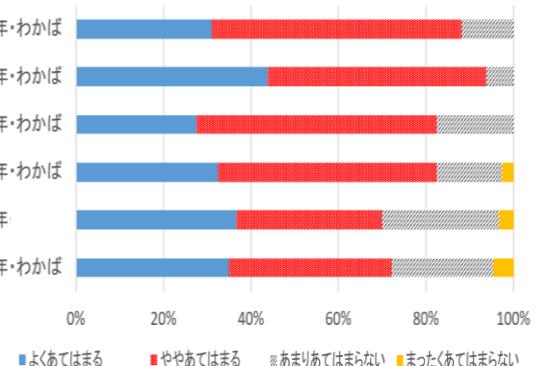
○進んであいさつできるようになった。



○早寝早起きできている。



○子どもに早寝早起きさせている。

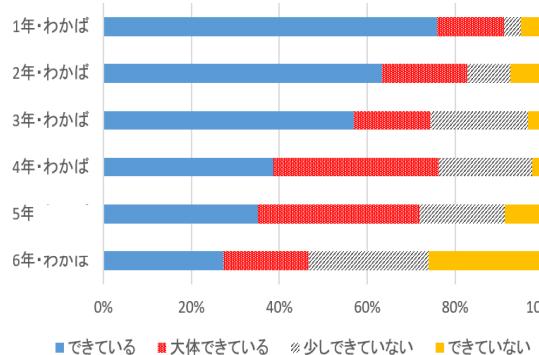


◆「進んであいさつできるようになった」は前期同様、児童と保護者の「よくあてはまる」の回答に差が出ています。児童の「あいさつができている」基準と保護者の「あいさつができる」の基準に違いがあることも考えられます。児童は、あいさつをすれば良くできていると理解しているかもしれません。しかし、保護者や教職員はこちらが先にあいさつをして返してもらうだけでなく、「自分からあいさつできる子」により育ってほしい。そんな願いがあるのではと感じています。そのためには「良いあいさつとはどのようなものか」を引き続き伝えたり、教職員がそのモデルのあいさつを実践していったりしていきたいと思います。

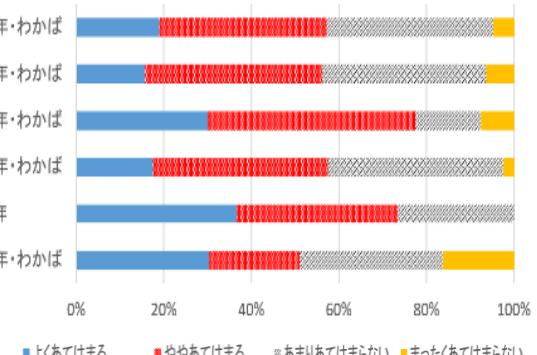
◆早寝早起きについては、高学年になるにつれ「できていない」回答が増えていっています。十分な睡眠時間は児童の成長に欠かせないものです。児童からは「遅くまでスマホをさわっている」という声も聞きます心身の成長に欠かせない「睡眠」について、その大切さを学校でも伝えていきたいと思います。ご家庭でも引き続きご協力いただければと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

読書の習慣化（左：児童 右：保護者）

○本をよく読んでいる。



○読書をするようになった。



「本をよく読んでいる」という項目については、低学年ほどよく読み、高学年になるにつれ低くなっている傾向があります。毎朝、朝読書の時間を設定し、その時間での読書は定着していますが、それ以外でどれだけ読書をしているかが回答に表れているかと思います。高学年になるほど、本を読む時間よりタブレットなどのICTを活用し情報などを得ている時間が多くなっているとも考えられます。もちろん、それも大切なことです、読書によって読解力・想像力・世界観の広がりなどが培われるとも考えています。今後とも読書の良さと大切さを伝えていきたいと思っています。

日々、葛野小学校の教育を支え、見守ってくださっている地域の皆様からもご意見をいただいております。「葛野の子どもたちの優しさや何でもまじめにがんばる姿が良いですね。」と言ってくださっています。一方で、このアンケート結果の中にもあるように「自分からすんであいさつをする児童がさらに増えていくと良いですね。」というご意見もいただいています。教職員がモデルとなり、あいさつの良さを伝えていきたいと思います。

また、「学校での学びが少しでも将来につながっていくと良いですね。」というご意見もいただいています。高学年のキャリア教育も充実させていければと考えています。

年間2回の「学校評価アンケート」にお忙しい中、回答をいただきありがとうございました。アンケート結果によって学校の取組の成果がどうであるか、ふり返り、見直すことができる良い機会となっています。1年間、学校教育へのご理解・ご協力、誠にありがとうございました。